

文化会館等施設に関する地域説明会（日光地域）会議録

日時：平成30年11月19日（月）18：00～20：30

場所：日光総合会館

参加者：194名

大嶋市長

皆さんこんばんは。ご案内申し上げましたところ、たくさんの市民の皆様にお集まりいただきまして、ありがとうございます。限られた時間ですけれども、本日はよろしくようお願い申し上げます。また、自治会長会さんのほうでもお声かけをいただいたということで、感謝を申し上げます。自治会長会の皆さんや、各観光関係とか団体の皆さんにご案内を差し上げて、一度説明をさせていただきました。その後、自治会長の皆さんから、これは広く市民に説明すべしというご意見をいただきましたので、このような運びとなりました。この文化会館の日光市の現状等を、このレジメにありますように、長期財政収支の見通しや公共施設マネジメントについて、それから文化会館等施設の方向性ということで、市のほうの現時点での考え方を、まずは皆様に説明をさせていただきたいと思っています。この日光市の現状を皆さんご存じのとおり、高齢化率もこれからどんどん高くなります。人口も減ります。生産年齢人口、65歳以下の仕事をして税金を納めている皆さんの数も、それに比例してどんどん減っていきます。そういう中であって日光市は、他の市町村に比べて1人当たり約2倍の公共施設の面積を有しているのです。ですから、この話は誰が市長であろうが避けては通れない案件だと思っています。唐突だというご意見もございますが、私は来年の今頃この話をするよりは、早めに皆さんと話をする機会を持ったほうが良いと思いました。市長に当選させてもらってから、まだ7カ月ですけれども早めに担当部署のほうに指示を出して、公共施設のマネジメントをしっかりと市民の皆様に説明をしていこうということで、スピード感を持ってやってまいりました。皆さんがだめだとおっしゃるところを、バリエーションで封鎖して無理やり壊すということは考えていませんから、まずは皆さんからいろいろなご意見をいただきたいと思います。1.8倍の面積も2倍近くに膨らんでくると、最終的には市のいろいろなところに歪が出てきます。あれもこれもできた時代から、どれかを選びながらやっていかななくてはならないと思っています。日光は観光の町、スケートの町でもあります。このスケートが、観光に寄与しているところがいっぱいあると思います。ただし、このスケート施設を維持していくのも、ものすごくお金がかかっています。どこまで維持できるか保障ができません。なるべく維持をしていきたいと思っていますが、あれもこれもというわけにはいかないという中で、どうしたらやっていけるか、どうしたら今の市民と未来の市民が、持続可能な日光市をやっていけるか、そういうことを念頭におきながら私はやってまいりたいと思っています。本日は市の説明を冷静に一度吸収していただいて、我々も皆さんの意見を冷静に吸収して、今後のことを考えてまいりたいと思っていますので、今日はよろしくようお願い申し上げます。

自己紹介

説明事項

質疑応答・意見交換

市民 1

今までの説明等でくい違いがあるかもしれませんが、年寄りのこととして我慢して聞いていただきたいと思います。総合会館の廃止問題について、4 つほど質問があります。まず 1 点目についてお聞きします。前回の説明会に出席できなかったのも、この説明会は一般の市民が気付かなかったことは、残念であると思います。翌日知ったことですが、話の内容は総合会館の廃止についての説明会で、すでに廃止が決まっているかのように解釈してしまったのは、私のひがみかもしれません。日光市の人口が将来 6 万 6,000 人になるという記事がありました。これから先も日光市は発展することなく、さらに縮小、12 年後には 6 万 6,000 人規模の組織になるから、それに合わせた縮小計画を進めるために、旧日光市民が大きな努力をしてつくり上げた、現在の総合会館を撤去するという話は、旧日光市民には納得のいかない話であります。日光総合会館の稼働率が悪いからと言われますのは、もっと地域市民に門戸を開き、気軽に使用できるような環境をつくれれば、稼働率は上がるのではないかと。そういう努力というのは聞かされることがありません。主に行政が運営して費用がかかるならば、民営化ということも検討してみる必要があるのではないかと思います。私たち民間から見れば、もっと市の中に削減しなければならぬものがあるような気がしてならないのですが、それが何かはわかりません。2 点目は、建物の耐震性について、総合会館が 0.65 と聞いています。国の指示する震度 6 程度の地震には耐えうる値であります。日光の岩盤の多い地盤で、震度 6 以上の地震はありえないと思います。ただ、国の指定する 0.75 にはあと 0.1 程度の強度補強を図れば、Y P、Y K の基準をクリアするには、リニューアルやリノベーションで担えることではないかと。建物の強化計画は一般国民の中で、専門家にコンペ方式で知恵を借りれば低価格で改修はできます。日光総合会館のデザインは、日光に相応しい建物であることは、多くの専門家からも認められています。大切な地域文化財だと思うと、この度の市の計画はあまりにも情けない話に聞こえてきます。3 点目は、今まで日光総合会館が果たしてきたあらゆる行事等は、地域性もあって市民だけではなく、広域の行事などに使われてきている。広域性をみれば、今市文化会館よりも日光総合会館のほうが利用率は高いのではないかと。スポーツ振興のためや、レクレーション行事の利用を考えても、現在の場所以外に考えられない。4 点目は、初めて市長の方針を聞かされた私たちは、新しい市長に大きな夢と期待を持っています。日光市が 12 年後に 6 万 6,000 人に衰退する見込みでの施設の廃止は、夢があまりにもなさすぎます。日光市は、まだまだ発展する観光産業的要素と、隠れた開発資源を持っています。日本国内でもまれにみる未開の土地であると言えます。日光はものづくりの町ではありません。いわゆる工業団地をつくる場所ではないということです。観光産業の町です。日光は広い世界を見ても、トップクラスの観光資源を持っています。この豊富な観光資源を活かしきれないのが、我が町日光です。戦後 70 年経っても、日光市は街中の国道の渋滞問題すらも解消することができないのです。相変わらず日光の道路の渋滞というのは続いています。しかし、その検討会すら開かれていないのが今日です。日光市が抱えている問題点すら、取り上げることができないのが現実である。世界的な国際観光都市として、開発計画は広く日本国内に広げる問題提起をして、その大切な開発問題を地元である日光市民が取り上げないとなれば進められるのですか。日光市には開発資金がない、その説明はよくわかりますが、資金は国内大企業や外国資本に目を付けるべき

だと。昔からの歴史をたどってみても、日光市独自で観光産業、文化財をつくることはできなかつた。ほとんどが他所から来た人が、日光の町をつくっていました。そういう事実に基づいても、もっとこれからの市長さんなどには、日光のことはりっぱな職員さんが大勢いるのですから、職員さんに任せて、対外的な外交、要するに日光に対して資本投下をしてくれるような企業を誘致することなどに重点を置かれて、日光市を発展させるという考え方のもとに市政を進めていってもらわないと、将来6万6,000人ですというのは、本当に涙が出るほど情けない話です。大嶋市長さんですか、もっと前向きに日光を発展させるという方法で進めてもらえたら、私としては大変ありがたい。後のことをよろしく願って質問とさせていただきます。

神保管財課長

1点目からお答えさせていただきます。民営化すればもう少し稼働率が上がるのではないかというお話ですが、先ほどの説明でも申し上げましたように資料の30、31ページになりますが、日光総合会館の場合は稼働率が低いという点が1つございます。それから何度も申し上げているように、築後46年経過していろいろなところの老朽化が進んでおります。今後、耐震改修工事を行っても、あと何年使えるかという考察も必要になってくるかと思えます。資料の31ページになりますが、下のほうに日光総合会館という棒グラフがあるかと思うのですが、そのグラフの上のところに、現在この施設は年間8,700万円が維持管理費としてかかっております。こちら市民一人当たりになると約1,000円、日光地域の人口で割りますと1人当たり約6,700円のコストがかかっているということになります。どうしても稼働率、老朽化の面、あとコストの面から考えて、市としては廃止させていただくという方針をださせていただいた次第です。民営化につきましては、先ほど説明でも申し上げたように、サウンディング型市場調査ということで、民間企業の方々の智恵とか提案をお借りして、より良い跡地利用を考えていただくというようなことを考えております。実際にこの地ですから、駐車場というのを中心にして、また皆様からご意見をいただいております、例えば小規模なホール等の機能を持った提案等もお願いしますということで、市場調査をかけているところですので、そちらは結果をまたお示ししたいと思います。次に2点目の耐震化の問題ですが、こちらの官庁施設につきましては0.75以上が求められているということで、現在、日光総合会館は0.65ですので、官庁施設としての基準が満たされていないという状況になりますので、こちらにつきましても先ほどの老朽化の大規模改修と合わせて考えると、費用がかかるのですが、今後どれだけ使えるかというあたりになってきますと、採算性等を考えますと非常に難しい面があるということになります。4点目の資金の調達についてですが、先ほどご説明した資料の34ページにありますように、市が単独で今後こういった大規模な施設を維持していくこと、また建て替えていくことというのは、非常に厳しい状態で難しい状況にありますので、民間等の施設を積極的に活用してまいりたいと考えております。以上です。

大嶋市長

6万6,000人という数字は、人口ビジョンというところに基づいて出させた数字です。このままいくと、このようになってしまうということです。合併したときは約9万6,000人で、毎年1,000人ぐらい減ってきたということです。このままいくと6万6,000人になってしまうということなので、少しでも減らさないようにしていきたいとは思っています。日光市を発展させるという腹

積もりは持っておりますが、伝え方が下手でしたら申し訳ないと思っております。人口は少しずつ減るのですが、世界に冠たる日光として、日光に住む市民が自信や誇りを持って、いきいきと暮らせるまちをつくっていききたいと思っております。その他、〇〇さんのご意見をいろいろ伺いましたので、ご意見として受け止めていききたいと思っております。以上です。

市民2

最初に市長さんが、我々自治会のほうの要望で今日の説明会を開催されたことに、最初に御礼を言いたいと思っております。ただ今の説明を聞きまして、私としては非常に落胆しました。この間9月27日に自治会としては、市のほうに要望書を提出いたしました。この中で、市のほうに4つ問いかけをいたしました。1つは、総合会館の整備の方向性ということなのです。〇〇さんも言われましたけれども、どうも整備の方向性で、最初から廃止ありきという考えで、すべてが進んでいるのではないかということで、今日の説明もそのとおりだったのですが、それが1つです。もう1つは、跡地をどうするのかということで、我々は問いかけをいたしました。9月27日に市のほうに問い合わせをしたのですが、漠然としたものはありますが、2カ月経った今でも、それが出されていないところです。より具体的なものを、我々は市民ですので、それを考えております。市のほうが、32ページで跡地というより、機能の代替を出されているのですが、ホール利用に関しまして、今市文化会館とか、中央公民館とかいろいろ書いてありますが、すべて今市ありきなのです。今市文化会館を残すということが決まってしまうのです。市のほうは、過日8月の説明会では、今市文化会館のあり方はこれから検討すると言っていたのですが、ここを見ますともう文化会館を残すということに捉えられます。これでいいのでしょうか。数年間かけて今市文化会館のあり方を検討する、我々のところは最初から廃止なのです。そこのところどうも私は解せない。それからホールに関して、いろいろ書いてありますが、例えばホール利用の行事というのは、ホール、舞台とかそういうのがから利用するのです。文化団体の方にとっては、舞台とかは非常に大切なものなのです。日光体育館では、それはできないのです。ここに安易に日光体育館と書いてありますが、私どうも解せません。それから会議室に関して、いろいろ書いてありますが、いずれもこの会議室は中途半端なのです。これを上げられたというのは、私にはどうも不可解で理解できません。それからもう1つ、民活ということ良く言われるのですが、下野新聞の10月10日付では、文化会館は民間施設で代替というふうな記事が大きく載っております。これは市のほうがたぶん出したわけです。安易に民活と言って民間施設で代替すると言っても、例えば、これらのホールの機能を、秋のシーズンに民間の施設が貸すのですか、藤原のようにたくさん旅館があるところだとわからないですけれども、日光の場合には、大きな旅館というのはほとんどないのです。お隣の千姫しかありませんので、それで代替が可能なのでしょうか。秋のシーズンにいっぱいお客さんが来てホールを使っているときに、我々がそこを貸してくださいといったとき、貸さないのではないですか。あるいは料金が高くなってしまふ。我々にはそんなお金はございませんので、それはまったく不可能であると。そうしますと、市長さんがおっしゃられた10月10日の下野新聞の代替、何と言われたかわかりませんが、下野新聞では民間施設に代替ということをおっしゃっていますけれども、私は非常に不可能ではないかと思っております。行事が重なってしまいますので、この市の整備のスケジュールと、跡地の機能の提案は、どうも安易にしか我々には聞こえません。これで総合会館は廃止だというようなことでは、

私としては納得できないので、その辺について明確に説明をお願いしたいと思います。それから1つ、我々は総合会館と共にこの前の駐車場に非常に恩恵を受けております。これは市のほうにも、財政的にはかなりの貢献をしているのではないかと思います。市に要望書を出したときに、安川町の第2駐車場の整備も併せて、この総合会館と分離して早めにやって、市の財政的な効果を、例えば年間6,000万円入るとすれば、それが1億円ぐらいになるような方法で活用していただく。この総合会館を民間にとよく言うのですが、私は民間に、市が持っている貴重な財産を分け与えるようなかたちでやることには、絶対反対です。これは貴重な財産なのです。ここに民間が入って何ができるのか、この地域を乱すような民間の人が入ってきたらどうするのですか。そのところが、安易に民間、民間と言って、私は非常に不安です。以上です。

神保管財課長

何点かいただきましたが、廃止ありきというお話を最初にいただいたかと思えます。こちらは何度も申し上げていますように、まず、市の中での考え方をお示ししているということで、決定ということではございません。いろいろとご意見を聞いた上で進めていくというかたちを考えております。跡地利用につきましては、最後のところとも関連しますが、先ほどから財政課、それから管財課のほうからも説明したように、今後の財政状況から市が単独で新しいハコモノをつくって、運営・維持していくことはできないというふうに考えております。そうした際に、どうしても今、官民連携と言いまして、いろいろな自治体ですすでに取り入れられている手法でございますので、これを利用しない手はないということで、提案の段階からサウンディング型市場調査という手法を取り入れて、この場所ですと駐車場機能というのは、おっしゃられたように重要であるということは市のほうでも考えておりますので、プラスαまた採算性のある提案をいただきたいということで、サウンディング市場調査を行っているということでございます。今市文化会館を残すという前提では決してありませんで、こちらは廃止をしまして、その後で3館を1つにする、1つにするあり方というのを今後検討していくということですので、残っている間は、今市文化会館は耐震化がされておりますので、こちらを代替施設としてここに上げさせていただきました。決して未来永劫に残すということではございませんので、よろしく願いいたします。体育館というふうに書かせていただきましたが、こちらは今のままのかたちでということではなくて、何らかの手を加えてということも含んでの体育館ということで、上げさせていただいております。会議室につきましては、確かに今現在の総合会館ほどの規模とか機能を持った会議室というのはなかなか難しいかと思えますが、人数的に十分対応できる部分もあるのではないかとこのように考えて、ここに上げさせていただいた次第です。それから、民間の利用ということは、確かにおっしゃられるように、藤原地域より日光地域のほうが、そういった利用は少ないかということは考えております。ただ、これも規模によりイベントとか会議の内容によりましては、代替できるのではないかと考えております。民間施設、例えばホテル等を利用した場合の使用料については、行政側で何らかの支援をしたいということで、現在、制度のほうを検討している状況でございます。

上中副市長

先ほど〇〇さんのほうから民活のお話がありましたように、鬼怒川温泉なんかは、大規模なホテ

ルが連坦していますので、地域の中だけで見れば非常に財産が見えるような、そういったホールがあります。そこを主として利用しない手はないのではないかとということで、ご相談申し上げたところ、観光関係の団体さんのほうも、そこはぜひ可能な範囲で協力をしたいから、そこは提供できるよというのが基本です。そういったところが、日光地域の中には、あまり多く存在していないということは認識しております。その場合、すべてホテルを利用させていただくということではなくて、レセプションですとか、オフィシャルな会議というのが年に数回あるとすれば、そういったときに、スケジュールタイムやスペースが空いていれば、その辺を利用させていただけるだろうかという可能性の話をさせていただいたところです。駐車場の話ですけども、こちらの駐車場が非常に有効なのは、当たり前にも我々もわかっております。ただ、駐車場は第1と第2にわかれていますけれども、こちらは第2駐車場ですが、両方合わせまして、駐車場の利用料金としての収入というのが年間7,000万ぐらいです。しかし、管理会社のほうに管理をしていただいている、管理人もいますし、そういった管理費が年間5,200万円ぐらいかかっています。管理費と言っているのは、人件費から事務費から管理費から、そういったものを含めて少なからずこういったお金がかかっています。市のほうに実際入ってくるお金というのは、2,000万円ほどが還元されるという話になります。収入だけをみると7,000万円ほどあるのですが、それがすべて、例えば今後の建物を建て替えるとか、他の整備をするということに、充当できるかということではないということを申し上げたいのです。駐車場としては収入源になりますので、例えばこの跡地をどんなふうに使ったらいいかという検討の中には、やはりどれだけ渋滞が厳しいということがわかっている話ですから、駐車場というものをなしには考えられませんが、駐車場を中心に考えていく、それを民間の知恵を借りながらサウンディング調査ということで、アイデアを提案していただくにあたっては、まず駐車場を基本に、それプラスαで何かアイデアをいただけないかなということで、これから民間の提案を借りたいということの考えであります。以上でございます。

市民3

私は先だって藤原の説明会に出ました。今日の説明を聞いて代替案ということで、鬼怒川温泉の大きなホテルのコンベンションホールなんかが使えるのではないかといいましたが、大きなホテルは、今、バイキング形式でやっておりますので使えませんという返事をしたわけです。代替はありません。先ほどそちらの方が申し上げたとおりです。今は、その会場はバイキング会場なので、その辺をよく把握しないと。誰に聞いたのですか。できないと、大きなホテルにちゃんと聞いたのです。それと、きちんと市場調査をして、民間、民間とは、どこの民間なのですか。そんな力のある民間があるのですか。やはり民間、民間と言っていますが不安です。先ほどそちらの方が話したとおりです。私はこの間も聞いて、今日も聞いたのです。民間に頼り過ぎじゃないですか。そんな民間があるのかと、私は本当に思っています。以上です。

上中副市長

この前お越しいただいたときにその話が出たと思いますが、鬼怒川についても、これは観光協会関係の方とお話し合いをした上で、正式に決めているわけでも何でもございませませんが、そういった可能性は十分にあるからということでお話をいただいているのは事実でございます。ただ全て

を使うということではなくて、例えば、そういった協力ができますかというところをホテルに仮に投げかけをして、それで、私のところは協力できますというところと、実はお話し合いをさせていただいております。

市民3

この間の女性の社長は、うちのホテルはできませんと言っていましたね。

神保管財課長

民間の導入というのが非常に懐疑的だというお話だったかと思うのですが、実はサウンディング型市場調査という呼びかけを、今月の12日からやっております、すでに何社か参加したいというご提案を受けておりますので、何らかのご提案はいただけるものと考えております。以上です。

市民4

私は市長を応援して当選して良かったなと思っていますし、これから市長と一緒に素晴らしい日光市をつくっていったらいいなと思っています。まず、代替施設というお話がでましたけれども、我々はこういう施設を使いたいということで、あちこち予約を取るのですが、けっこういっぱい取れないのです。今市文化会館を使いたいというと、希望の日には取れない、ニコニコ本陣も取れない、田母沢御用邸も取れないということで、我々が使いたい日は、みんなも使いたい日なので使えないのです。日光総合会館でやろうとなると、渋滞で誰も来られないとなってしまいます。ですから、ここをどうこうする前に、日光市がどういう日光市にしたいのかという方向性を考えないといけないのではないですか。例えば、ここを壊して駐車場にしますと言っても、おそらく渋滞の原因をつくるだけだと思います。現状は、東照宮の駐車場が渋滞の原因になってしまっているのです。日光市が日光をどう活用していくかという方向性を示さない限り、例えば、非常にいい方向性をつくって、ここに来るまでの道筋を上手くつくれるとしたら、おそらく今市を活用するよりも、日光を活用したほうがいいと思うのです。もう1つ、人口が減る、減ると言っていますし、これからお金が入らなくなる話をしていましたけれども、現状、世界の経済というのは1位がエネルギー、2位が化学製品、今まで3位は自動車産業だったのですが、今は観光ですから、これから観光というのは世界的に非常に見込める産業になってきているのです。おそらく日光は乗り遅れています。なぜかという、財政力指数という指数があるのですが、日本全国1,742市町村の中で、箱根町が10位、鎌倉市は46位です。点数が1を超えていれば、自主財源ができますということなのです。箱根が1.44、鎌倉が1.06、日光市は0.61で569位です。これだけ大きな観光資源を持っているにも関わらず、それを上手く活用できていないということだと思います。これを活用しないで、お金がないと言ってほしくないのです。私は、世界あちこちの観光地を巡ってきましたけれども、これほどすばらしい観光地は見たことはありません。これだけ魅力のあるところは、世界中探してもないので、これを上手く活かす方法を考えて、お金を稼いでもらいたいです。鎌倉とかを見ても、お金を使うところがいっぱいあるのです。日光はお金を使うところがないのです。我々がお客で来ても、おそらくお金を使わないで帰るだろうなという感じなのです。もっともっとお金を稼げる場所を増やせば、当然人口も増えますし、ここ

で子育てしたいという世代も出てくれます。先ほど、日光市の重鎮の皆様が意見を言いましたが、我々もそのバトンを受け取って、今度は我々の子供たちにバトンを渡さなくてはいけないのです。この状態の日光市は、我々の子供には渡せないと思います。おそらくここにいる皆さんそう思っていると思います。これだけ素晴らしい資源があって、稼げる要素がある場所でお金がないというのは言わないで、何とか稼げる方法を考えて稼いで、ぜひこういう素晴らしい場所を残していただきたいと思います。以上です。

上中副市長

お金の話をさせていただきたいと思っています。旧日光市は、合併前から財政力がそう高くはありませんでした。鬼怒川温泉もバブルの崩壊直前ぐらいから、先ほど申し上げたとおり、国から仕送りをもらわないレベルに至ってしまうのではないかといいところもありました。例えばリゾートマンションですとか、新たなホテルの設備投資ですとか、そういったところに固定資産税とかあがってきたので、そういった財政とかが豊かになる可能性があった時代がありました。それがバブル崩壊し、リーマンショックですとかいろいろあり、そういったことの痛手が当然影響しまして、固定資産もだんだん目減りをしてきているということで、あと下降の一途で、リーマンショックで、地域再生事業を行いました。旧日光市のほうも、これだけの観光客がいらっしやっている割には、なぜか財政が低い、市税収入は今の日光市でいうと、自主財源、まさに税金で賄えるというところが3割しかありません。通常4割、5割あるのですが、非常に自主財源が少ないということは依存財源と言いまして、国からの補助金ですとか、借金に依存することが抜けきれない状況になっています。先ほどの箱根は国からの仕送りをもらっていない財政力が非常に高いところなのですが、実はあそこは納税義務者の7割が箱根町外の人らしいのです。そうすると税収が町内から上がってこないのです。そうすると箱根は財政が豊かにも関わらず、観光や福祉等にかかるお金の経費が非常にかさみまして、財政力指数が高いにも関わらず、税金の見直しをしなくちゃいけないということで、実は固定資産税を上げました。それは本来だったら、入湯税とか上げるべきものなのかもしれませんが、固定資産税を上げたという理由は、その納税義務者が町外の7割というところを斟酌して、なるべく町内の人に負担をかけないように固定資産税を上げることに踏み切ったのです。あの箱根でさえ、そういう税源を求めているという話なのです。あと、京都市は、財政力自体は高くないのです。あれだけの国宝、一大観光都市で、京都に観光客があれだけ来ているのに、お金が落ちないのか、市税が上がらないのかと言いますと、日光市と同じように非常に市税の割合は低いのです。その原因は、固定資産税が非常に少ないです。非震災地域で、古い建物が戦争の際に被災を受けなかったものですから、木造建築が多くございます。当然のことながら固定資産税が上がりません。高齢者と大学生が多いので、やはり生産年齢人口が少ないので税収が上がりません。その割には観光にかかる経費は非常にかかるということで、京都市は今年の10月1日から、宿泊税というのを導入しました。あの京都が法定外目的税で新たな税源を求めたという話です。先ほど話がでました鎌倉市もそうですし、金沢もそうですし、福岡市もそうですし、軒並み宿泊税というものに踏み切っています。それは観光客が来ているのに、やはり観光に使うお金が大きいから、税金が上がらないという不自然な状況なのですが、それが現実です。それに比べると、日光市は確かに自然、文化たくさんのポテンシャルがあるのですけれども、やはり同じような状況が見えてきているというのが現状でありまして、決し

て悲観しているばかりではないのですが、この辺が、だから文化会館なのだという話にならないのですが、とにかく経費の削れるところを削っていかなくては財政がもちません。先ほど、なんとなく説明してしまいましたけれども、平成 39 年度に損益が逆転するということは、貯金を全部使い果たして、赤字になってしまうということです。そこで財政がパンクするという状況です。それがそんなに遠からず、平成 39 年度に訪れてしまうということで、今のうちに何とかしなくちゃいけないということで、できることからやりましょうというのが今回の考え方なのです。決して文化会館だけをターゲットにしているわけではありません。合併したときは職員が 1,340 人いましたが、それから 400 人ぐらい削って、これからも削ります。そういった人件費も圧縮して、削れるものは削っていきます。無駄な補助金も削っていかなくてはいけないと思います。でも、補助金は 1 度つくってしまうとなかなか削れないので、来年からいろいろな有識者の方の意見を聞きながら、削っていかうかなということを考えております。削る一辺倒では絶対に財政が改善しません。先ほど申しましたように、新たな財源を日光市の中でも考えていかなくちゃいけないかなということまで、そんな切迫感の状況に至っているのが現状です。ですから、日光の価値は我々も認識しています。文化会館を潰さなくてすむのだったら、潰したくありません。ですが、やれることからやるという 1 つとして、まずは利用度が低いところから何とか整理をさせていただいて、同じ日光市のわけですから、ホールの利用に関しまして、ここから 30 分くらいで行けるところで何とか我慢できませんか、会議室は空いているところを上手く利用していきましようというのが、今回の提案していく骨となる部分です。これに対してやはりご異論あると思いますので、その辺はお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

市民 5

今の説明は、私は詭弁ではないかと思います。ニコニコ本陣は数十億円のお金かけて、赤字です。あれはなんですか。日光総合会館の駐車場で 7,000 万円、日光市で一番稼いでいるのです。今市で稼いでいる場所ありますか。たぶんないと思います。確かに人口が減っていて建物が多いでしょうが、それだけこの駐車場は県から借りていて、この運営だってもっと公明正大に入札すれば、私はもっと市に対する上納金が出ると思います。それをやっていないのです。入札をこういうふうにしますよ、自治会の方、皆さん手を上げて運営しませんかというふうになれば、私はもっと上がって経費は下がると思うのです。どこの管理会社かわかりませんが、トイレの電気を消したりもっと削れると思います。〇〇さんが言いましたけど、この総合会館を廃止して何かつくりましようというのはおかしいです。ここの総合会館は、我々の西町地区の避難場所なのです。田母沢の橋と、大谷川の橋と、昔の吊り橋が地震で落ちたら逃げるところがないです。我々はどこへ逃げたらいいのですか。いざというときには、二社一寺のほうに行くのでしょうか。それからもう 1 つ、お金がないということですが、観光客からお金を取ってください。二社一寺を参拝したお客さんから。昔、観光税があったのです。ゴミは置いていきます、おしっこは置いていきます。二社一寺さんに大変失礼ですけども、入場料、拝観料が上がりました。ある宗教関係の人は、公共トイレをつくってくれたりやってくれていますが、ほとんどのところはやっていません。渋滞の延長です。日光市の行政、警察は、渋滞だけ何にもしません。今年 7 月に 3,000 万円かけて、清滝のほうから車の専用道路をつくりましたが、花石町や安良沢町の方から危ないから直してくださいということで、2 カ月間で直しました。全然効果がありませんでした。地元の意見を

聞かないでやってしまったからです。この総合会館だって、地元の人や日光市民の意見を聞けば、もっと良くなります。もっと利用の方法があると思います。総合会館ばかりやらないで、新しい公共の施設をいろいろつくっています。ニコニコ本陣と市役所だけで 100 億円ですよ。ニコニコ本陣の場所が、今市総合会館の方向なら、渋滞もしなければ、交通だってもっとスムーズに行くわけです。それは前の市の執行部、議会に私は責任があると思います。赤字は赤字、確かに行政の方が言うのはわかります。市民一人当たりの公共施設が多い、これを減らさなければならない、だけど、減らせばいいというものではなくて、もっと民間に活用する方法、または入札で余っている土地は早めに売るとか何かいい方法があると思います。解体や売るにしても、もっと利用価値があると思います。日光市が持っている固定資産税は入りませんが、民間が持っていれば固定資産税が入ってくるでしょう。耳が痛いこと言って申し訳ございませんが、もっと活用の仕方があるのです。廃止されたら困ります。私は体はって反対します。

上中副市長

今回、大嶋新市長の体制で我々はこういった部署に配置されて、いろいろ検討しているところなのですが、正直言いまして、これまでの漠然と財政が厳しいということを言われ続けてきたのかもしれませんが、それが実態としてどうなのかということが、実は皆さんに全然お示しもしていなかったでしょうし、見えたりしていなかったもので、短い期間では財政計画というのは、今までもつくってきたものですが、その中からは危機感というのは見えてきてなくて、今回、新しい体制になってから、これではいけないと思って、次の世代や次の次の世代に、財政的な負担を背負わせては申し訳ないということなので、少し長い目で少しずつ財政計画を見直していきましょうということで、今回は 13 年間のスパンなのです。そこで 39 年度に非常に厳しい状況に陥るといことが、明確にわかったものですから、隠しているつもりはなかったのですが、とにかくこういったことを長いスパンで、今まで計画上お示ししたことが一度もなかったものですから、今回は将来をにらんだ、どうなのかというところを中長期的な財政計画として、示させてもらったということになります。これまでに合併特例債という合併のときに有利な借金ができるというのがあったので、これを利用していろいろな施設をつくってまいりました。それは、もちろん学校もありますし、当然、行政センター庁舎等もそうです。どうしてやるかということ、短期間な 12 年間の間に非常に多くの投資をしてきました。これから 10 年、20 年先に、改めてその建物を建て替えようとする、もう有利な借金もできませんし、そういった建て替えができなくなってしまうので、将来的に負担を残すのではなくて、今のうちに建て替えようということが、例えば庁舎であり、道路であり、そういったことにお金を使わせてもらったということです。ニコニコ本陣とかの話が出ましたけども、この辺の施設をつくったことの是非論というのは、我々もその検証というのは、できてしまっているものを我々の責任として、どういうふうにして今後上手く使っていくかという方法論しかないので、現時点ではそれを検証した上で、今後上手く活用していくことを考えおります。ただ、それを作った是非論については、いろんなご意見があると思いますけれども、現状においては我々も言いようがございません。あと避難場所の話なのですが、ここは確かに避難場所に指定してございます。避難場所の考え方は 2 つありまして、例えば土砂災害が起きて、自分の命を守る自助のためには、まず命を守るために避難をしないといけない。それが例えば川の近くで川が氾濫してしまったら、一番言えるのは高台に逃げなくてはいい

けないということなのです。高台に逃げるためには、東照宮のほうに逃げるというのも方法としてありますが、1番の方法は、ビルがあったらビルの2階や3階や4階に逃げるのが1番有効で、それが緊急避難ということなのです。ここが完璧かどうかという微妙なところがあります。近くに大きなホテルもあつたりします。鬼怒川温泉にもたくさん高いホテルがありますので、そういったところと徐々に協定を結ばせてもらっていて、まず、緊急避難はそのホテルを利用させてもらおうと、今、盛んにお話しをしています。それは自治会と協働でやらせてもらっています。そんなふうなかたちで、緊急避難はまず身を守ること、危険をやり過ごしたら、次は長期的な避難生活を送らなくてはならないので、それは学校とか違うところに、もちろん公用車とか使って移動していただいて、そこで避難生活を送る。命の危険から身を守るというのが1つで、もう1つが長期的な避難を強いられる場合は、違う場所で避難生活をするというふうに考えておりますので、これから日光地域の中では、そういった場所を緊急避難場所として活用させていただきませんかとお話しを進めていきたいと思っています。避難に関してはそういうことでございます。

市民6

避難の話がでましたが、一時この日光も扇状洪水帯がありました。川俣ダム、湯西川ダム、五十里ダム、川治ダムの大きなダムがあるのですが、それが許容率100%、あと3時間も雨が降れば、オーバーフォローしてしまうときがありました。そのときに、ある学者に調べさせたら、これは県で説明会があったのですが、あと3時間雨が降ったら、川治温泉が水没をしてしまう、これは事実です。その後、日光市の総合部長に何かシミュレーションができていいのかと聞きましたら、何もできていませんとのことでした。それをやるのですか。

上中副市長

直接的なお話じゃないのですから簡単に言いますと、今、ハザードマップを国土交通省と検討しまして、ハザードマップをつくりました。川治温泉はダムから直下の町ですから、全国的にもあいうスタイルは珍しいのです。4ダムが放流をいっぺんにしたら、水が逆流したらあの町は沈んでしまうということがあります。災害の放流量に対して、どのくらいの水位が上がるかということも、今そこを調査して、データを国土交通省が持っていますから、それを基にして例えば電柱に印を付けるとか、そういったことまで準備をしようということで進めています。肝心の避難は、あそこに高いビルのホテルがあるのですが、あちらとすでに協定を結んでいます。それで命が全て救えるかどうかわかりませんが、基本的には大丈夫です。

市民7

資料の文化会館等施設の方向性についての29ページに、検討結果ステップ1が総合会館の早期廃止について調整、ステップ2が文化会館施設整備のあり方について、平成30年度中を目途に市内の考え方を調整するという事です。この資料で唯一、太字でアンダーラインが引いてありますので、たぶんこれが市の一番言いたいことだというふうに思いますが、この順番が逆ではないでしょうか。文化会館と総合会館を潰すのであれば、その文化的な機能をどうするのか、これをしっかり固めてから廃止することの是非を問うというのが筋道ではないかと思えます。それで、

私は音楽演奏団体に入っているのですが、昨日もここで吹奏楽の演奏がありました。かなりのお客さんが入って、市内の家族連れ、おじいちゃんもおばあちゃん、子供さんもたくさん聴きに来ていました。例えば、日光総合会館なくなってしまう、それを今市でやるということになりますと、お子さんやお年寄りに行かれなくなります。ここがなくなると、旧日光地域の住民の中から文化的な活動というのが、非常に衰退するのではないのでしょうか。日光地域内各小学校の文化祭にしても、あるいは小学校連合の文化祭にしても、今市ではできないと思います。そういう地域に、果たしてこれから人がどんどん増えるのでしょうか。あるいは残るのでしょうか。どんどん外へ出て行ってしまい、魅力のない地域になっていくのではないかとということで、私はまず文化的な施設、それから機能をどうするのかということをしっかり考えていただいてから、廃止について問う必要があると思います。代替施設にニコニコ本陣の話が出ていますが、あれはカラオケ施設で壁に全部吸音盤が貼ってありますから、生はだめです。歌のコンクールもありましたけれども、出場者はがっかりしたと思います。そういうことで、もう少しきちっと、どういう機能をどこで受け持つのか、そういうことを考えていただいた上で話というふうにしないと、住民の文化的なレベルがどんどん下がって行って、魅力のない地域になってしまいます。それから、観光というのが日光の中心産業にこれから益々なると思います。今の総合会館の場所というのは、観光的に言えば一等地です。駐車場として広げることを目途に検討するというふうにおっしゃっていましたが、この駐車場を多少広げても、ここに車が押し寄せるということになりますから、益々渋滞が私はひどくなるのではないかと思います。今、市のほうでアイスアリーナからシャトルバスを出して実験をやっていて、1,000 台の収容力のある駐車場を活用しようという実験は非常に良いことだと思うのですが、そういうことも含めて、もっともっと将来、日光の観光産業が伸びて、税収も増えていく、そういうことを総合会館の地域だけでなく、広い目で見て、長い将来の先を見て跡地計画というのも考えていただきたいと思います。空いたから何かに利用しなければというのではなくて、将来の戦略の中でそういうことを考えていただきたいという 2 つの質問です。

神保管財課長

ステップ 1 と 2 の順番が逆ではないかというご質問なのですが、こちらにつきましては何度もご説明させていただいていますように、資料の 28 ページに現状と課題とありますが、1,000 人規模のホールを 3 つ維持していくことが、非常に財政的にも厳しいというところがあります。その判断材料として、利用率、それからランニングコストの問題というのが、どうしても無視ができないということ、また、耐震化がされていないということから、日光と藤原の早期廃止についてという市の方針を出させていただいたところになります。それを受けて、何度も申し上げますように、この 2 施設の廃止を想定していただくことで、その跡地利用について民間事業者の自由な発想が得られるのではないかとことから、こういった順番でまずお示しをさせていただいているということです。確かに現在この施設を使われている方に、今市に行ってくださいということになると、非常に不便ということは我々も承知しているところですが、徒歩でここを利用される方よりも、どうしても車でこちらに来られる方が多いのではないかとこのように考えております。そういった場合、距離は長くなりますが使い方の工夫をしていただきたいということで、こちらはお願ひになります。

上中副市長

こちらを駐車場化するということが、是非論の話もあると思うのですが、この第1駐車場と第2駐車場を充実させてくれという話というのは、実を言いますと自治会からの要望がすでに出ているかもしれません。それが全て総意かと言われるとそうではないかもしれませんが、確かにこの駐車場を増やしたからといって、根本的な渋滞の対策、渋滞の解消には至らないというものは我々も承知はしております。ただ、少しでも駐車スペースで稼ごうということで、今、日光地域の中でも空きスペースを探しながら、少しでも駐車場として利用できるかというところを、小さな部分かもしれませんが、そんなことをやっています。実は地域の中にお住まいの方が、例えば庭が少し空いていますとか、もしくは、空いている土地がありますという情報を、実は県とタイアップでやり始めているのです。駐車場利用のためのソフト会社と契約をして、空いているところをネット上で予約ができる、そんなふうにして少しでも空いたスペースを有効利用しましょうと、そんな取り組みも地道に始めたりしています。ただ、駐車場がこのベストではないかもしれませんが、他と比較したときにやはりどうしても駐車場で稼ごう、駐車場のスペースを確保しようといったところでの発想でございますので、その辺もご理解いただければと思います。

市民8

文化協会としては、去る11月7日、10日、11日に日光市民文化祭というのを実施しまして、今回68回目を数えるわけです。非常に歴史があり、この会館ができる前からの行事で、回を重ねているということでございます。7日は足尾と日光地域の小学校、中学校の13校で492名の参加者がありました。そして児童・生徒の展示もありまして、676人の作品を公開展示しましたし、10日は芸術祭ということで、20の団体で435名の参加者がいらっしゃいました。11日は一般展示もなされまして、157人の289点の作品が展示されました。

また日光茶会がありまして、270名の参加者がありました。総合しますと2,030名、市民の方の参加者があったということです。これが来年、再来年に廃止になりますと、日光文化祭の行事開催がひじょうに困難になるのではないかと危惧しているところでございます。今市の文化会館を使えばいいのではないかとお話がありましたけれども、やはり文化活動というのは、地域に根ざした普段の活動の総決算が市民文化祭だというふうに考えたときに、仮に今市に会場が移るといふことになると、地域性がなくなってくることによって、市民の文化活動に支障をきたすのではないかというふうな気がいたしました。そういったことを含めて、市の代替案といいますか、文化祭の実施に伴う代替というのを、どういうふうに考えているのか、お答えいただければありがたいと思います。

神保管財課長

今、文化祭のことについてのご質問をいただきまして、単純に今おっしゃられた参加者があるということで、これをそっくり代替というのは、なかなか難しいというふうには考えております。ただ、どうしても今後この状況がずっと続いていくのかと言われると、将来的に見ると、そういった推計も当然させていただかないといけない状況というの、何とかご理解いただきたいと

ところで、その部分につきましては、おっしゃられたように今市の施設を使っていたとか、あとは何度も言っていますように、他の施設を使っていたとか、そのようなかたちで対応していただくというかたちで考えております。

市民 9

先ほどから長時間かけていろいろやってきたのですが、執行部の答弁は、まさに廃止ありきの答弁という感じがするのです。さて、新市長、6カ月ぐらいで大変な荷物を背負うことになってご苦労さまです。実は私、12年前の合併のとき、旧日光市はそのままで良かったのかなと、そんな感じがするのです。今、合併したことによって財政的に厳しいから、この会館を廃止したいということになったわけです。合併しないままでやったときに、財政的にどうなるかというのはわかりませんが、ただ、その当時を思いおこすとちょっと残念です。当時私は、例えば世界の宗教、すべてキリスト教総括しているイタリアの中のバチカン宮殿、日光はまさに世界の観光地として国立公園第1号、世界遺産登録、そしてラムサール条約の登録、あらゆる面で揃っているわけです。今日の下野新聞の日光版をご覧になったかと思うのですが、子供たちの「私の町の宝物」写真と絵画展です。輪王寺のところで昨日から開催しています。新聞記事になっていると思います。もちろん、市長、議長にも特別賞を出していただきました。ありがとうございます。その中で最優秀賞に輝いた中学生が、感想文を述べております。「私はこの日光に住んでいて良かった。そしてこの日光の素晴らしいところを、これからもしっかりと歩きながら、これから頑張ってまいります。」。小学生、中学生、約400点の絵画です。そして、そのうち101人が入選をしたのです。そのような子供たちが、この日光を宝物にして絵を書いたのです。それは、まさに将来の日光を背負う子供たちです。そういう意味からすれば、魅力ある日光にしないではないかと、私は考えます。そういう意味で、この総合会館を廃止するという方向が出たときに、子供たちはどういう感じを持つか、「あー、いよいよ日光も駄目か。」、今、行政の中心も含めて今市中心です。旧今市市です。あそこまで日光の人が行くときに、バス代がどれくらいかかりますか。電車賃はどれくらいかかりますか。ガソリン代はどれくらいかかりますか。こういうことになってくると、非常に厳しいのです。すべての行政の中心が旧今市にいくのです。今回、日光行政センターができました。今回そこを利用するという言い方をしました。もし、そういうのがあったら、ホールと一緒に併設して使えるようにしたらどうだったのですか。つくってしまったから文句を言っても始まらないのですが、今、そういう計画性を持たないで、今、邪魔だから、金がないからということだけで廃止することは、私は反対です。以上です。

大嶋市長

それぞれ皆さんの声を聞きたいので、一回全部お話していただきます。7、8人の方が手をあげていらっしやいましたから、できれば要点をまとめて一番言いたいところを強く言っていただけるようにしていただいて、全部答えられるかどうかわかりませんが、最後にお答えしますので、まずはお話しをしてみてください。

市民 10

前回、皆さんにご通知がなかなか残念なアーデルのときに、私は傍聴席からご意見を言わせ

ていただいた、〇〇と申します。今回、市民として参加させていただいたのですが、まず、がっかりしています。先ほど〇〇さんがおっしゃっていたのですが、文化をやっている人間は舞台が命です。それを体育館でやればいいのではないか、これは文化をやっている人間に対して失礼です。私は昨日、ここで日光吹奏楽団の演奏会を主宰させていただいたのです。中心としてやらせていただいております。先日は渋滞にも関わらず 300 人以上の方が、渋滞をわかっているながら 1 時間前から来て、私たちの演奏を楽しみにしていただきました。それはこのホールあつての響きを楽しみにして来てくださっているからです。これを音響設備のないところ、客席もないところ、体育館に体育座りをして 2 時間以上の演奏を聴かせるのは、私たちは精神的に苦痛であるため、私たちの演奏を聴いていただけません。それはやりたくないです。それと、前にいただいた資料と、今回いただいた資料で改善されているところは、とてもありがたいと思うのですが、皆さんの不安を煽らなくてすむような情報が 1 つ抜けています。それがなぜなのかをお伝えいただければと思います。ここの廃止はありきではないと先ほどからおっしゃられておりますが、前回配られた資料には、集約に向けた各施設のスケジュール案とはなっていましたが、最短の場合、今市文化会館は平成 30 年に改修もしくは建替えに向けた検討調整、31 年には工事実施計画、32 年に工事、これは今市文化会館のその場での工事の改修だと思っております。さらに日光総合会館、藤原文化会館に至っては、30 年から 32 年にかけて跡地に向けた検討調整、跡地となっております。もう潰されていることに、ここは決まっているのではないですか。そして 32 年には施設解体・施設調整、解体が 32 年には決まっている予定になっております。これは、ありきととられても仕方ないと思っております。これがまだ調整で、本当にないのであれば、この計画は誰ひとりの手元に渡っていないのか、これが本当に予定であるのだったら、ここにいる会場の皆様は、今日始めて足を運んでいただいた方がほとんどですので、この資料を抜いているのはおかしいと思っております。自分たちに不都合な資料は抜いてしまって、前回言われたものだけを補足している、これは都合のいい書類ではないでしょうか。皆さん、32 年にはここの施設解体が始まる予定になっていたことを知っていますか。今市文化会館は予定のほうには改修と書いてありますが、前回のところには壊すかすべて廃止、または新たな文化会館を整備する、でもハコモノをつくるお金はないのですよね。壊してしまってから何かつくれるのですか。壊すにもお金がかかります。駐車場・・・があれば、ここを潰して平地にしても地下に駐車場があるので、そんなに台数は変わりません。だったら壊してでも、ほかのところに小さなものをつくれる予算があるのなら、小さな施設をここにもう一度建てていただいて、そして、今、生きている駐車場と地下を利用して、立体駐車場とか台数を増やすことを考えてはいかがでしょうか。潰してから、その後こここの使い方を考えます、計画性がなさすぎではないでしょうか。ここにいる方は、おそらく私よりも年配の方で経験も豊富だと思っております。どうして潰した後に考えます、こんなずさんなことが大金をかけた計画なのに言えるのですか。潰す前にここの跡地をどうするのかではなく、ここを使っている皆さんが、どういうふうになれば気分よく納得してくれるのか。言い方悪いですけども、今市文化会館など使っていただいて、都合がよすぎますよね。料金も違います。私たちはこのぐらいのホールでちょうどいいと思って、ここを選んでおります。今市文化会館ほど大きなものは、私たち旧日光市民にはありません。だからもっとここの耐震構造をちゃんと活かした、小さなものでいいので、ここの駐車場がなくては、お客様は来てくれません。前回、私は申し上げましたが、ニコニコ本陣は、駐車場がサービスエリアと一緒になくなってしまっているのです、ニコニコ本陣に行きたいお客さ

んは、車を停めるところがありません。仕方なしに皆さん、かましんや今市病院の駐車場に停めます。病院は困ります。かましんの駐車場には、無断で置かないでくださいと、張り紙が貼られます。利用する人はどこがいいのですか。車社会だとおっしゃいましたよね。だったら、駐車場付のちゃんとした施設をつくってください。駐車場がないところを利用しろと言うのは、あまりにもずさんです。こんな小さな日光でも、昨日は300人のお客さんに喜んでいただいたステージを開かせていただいたので、舞台がないホテルの大宴会場を使って演奏やれ、私たちは慰問団ではありません。吹奏楽団です。ホールを用意してください。それは、今まで30年以上活動をやってきたこの地で、活動を続けていきたいです。勝手に今市に移動しろ、これは私たちの気持ちまで踏みつけられているような気がします。もう1つ言わせてください。私は、いろいろなところで演奏会の活動させてもらっています。他の市長さん、町長さん、村長さん、どこの方とは言いませんが、住んでいる人たちの心は、文化で育ちますと言いました。私は、とても羨ましいと思いました。なぜなら、私が同じような質問を前回したときに、この際、文化は我慢していただいてと返答されました。だから、私は今、もういいのではないかと問われましたが、許せません。市長さんに返答をいただきました。今市病院が移転する話は皆さんご存知ですよ。そういうところにもお金がかかります。この際、命のほうが大事なので、文化のほうは我慢していただいてとはっきり言われたので、私は傷つきました。このことを含めて返答をお願いしたいと思います。それと、全部答えられるかわかりませんが、だったらまとめて聞くのはやめてください。全部答えてください。よろしくお願いします。以上です。

大嶋市長

私が少し焦ったのかもしれませんが、本当に日光市の財政は大変で、待ったなしだと思って私は選挙戦をやりました。貯金がなくなるのが、35年か36年くらいかなと私は思っていました。会社の社長なら、自分の会社に金がいくらあるのかわからないと、運営の仕方もわかりませんから、早めに財政のシミュレーションを出してくれとお願いをしたのです。そうしたところ、あと8年で70、80億円の貯金を使い果たすという状況なのです。まず、それは皆さんにもご理解をいただきたいと思います。そういう中で、どこかを我慢していかなくてはだめなのだということなのです。そういう中で、とにかく私が一番課題だと思ったのは、こういう公共施設をいかに整備統合していくというのは、非常に日光市は課題だということに私自身は思っていたのです。それで、前市長のときに文化会館は1つにするというのは決めていたのです。皆さんは聞いていなかったかもしれませんが、役所の中と議会のほうでは1つにしていかななくてはというのは、おおむねコンセンサスはとれていたと思います。そういう中であって、皆さんに考えていただきたい、あえていえば、私はこういう集まりがこの時期にできて良かったと思っています。皆さんと一緒に、実際、皆さんのなくさないでくれという声も聞けて良かったと思っています。聞かないとわかりませんから、そういう意味で直接話をする機会を持ちたいと思ったのも事実です。ですから、どうしてもなくすなというならば、私もそうしたいと思います。ただ、どこかを削っていかなくてはならないです。今市の皆さんも気持ちは一緒です。文化的活動をやる場所がなくなったら、困るという人もいっぱいいます。文化会館を整理統合していくということを、皆さんに考えてほしいというのがまず1つです。財政的に非常に厳しくなるので、ぜひ、ご意見いただきたいという思いで、この整理統合の話を出しました。どこか1カ所につくるのを決めたところ

で、結果的にはここがなくなるということは皆さんが反対だとすれば、今の時点で聞いて良かったのだと思います。1つにするのであれば、人口が多い、そして耐震性ができている今市を残す。あれをごまかして使っていくか、つくり変えるかは別として、今、7~8,000万円かかっているランニングコストが、5年、6年、10年とかかると、先ほど言った貯金もどんどんなくなりますから、早めに皆さんに投げて、市としての考えを伝えるべきだと思ったので、早めに皆さんにお知らせをしたのです。早めにお知らせをしたから、今日こういう話ができただのだと思います。1、2年先延ばしにしないで良かったと思います。ここからどうやっていくのだというのは、また今日皆さんからいただいた意見を持ち帰って、市のほうの中でも議論します。民間意見もサウンディング調査をかけていきます。もしかすると、いいアイデアをくれるかもしれません。ですから、1つ、1つ答えろと言われたのですが、私は潰す前に、例えば民間からこういう意見がきましたので、皆さんこういうのはどうですかと提案します。そういうやりとり、キャッチボールをしながら、最終的にどうしていくというのを皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。ですから、どうするか決まらないうちに、設計出してこうしますとはしませんから、そこは信用してください。ただし、今後どこかにしわ寄せがいかなくてはならないと思います。どうしても文化会館は残せ、億のお金をかけて耐震工事をやって残せというなら、なくなる貯金の使いみちの中に、それは入っていないです。その分なくなるのは早くなります。ですから、どこかは削っていかなくてはならないのです。私の給料では、ぜんぜん追いつかないのです。給料はそのうち下げますが、私も生活はありますから、ボランティアでやりますという訳にはいかないです。その部分は、ご理解いただきたいなと思います。どこかを削らなくてはならないのです。確かに前回、病院とかにお金がかかってくるので、文化をまるっきり否定をしたわけではないです。ただ、この場所で活動することは少し我慢していただいて、今市文化会館でという話はしたかもしれませんが、でも、文化芸術活動を全部否定するつもりはありませんから、もし、そのように伝わったとしたら、それは謝ります。それに似た話は、確かに私は言ったかもしれませんが。財政の話でありましたけれども、観光もそうですし、日光をとにかく元気にする、強くしていこうと思ってやっています。たまたま今日は、皆さんにとってはさみしい話のテーマですが、ぜひ、夢や希望のテーマの話もしてみたいと思っています。ただ、この今の日光市の現状は、旧2市2町1村、政治に関わった人、行政に関わった人、その村民、町民、市民、そして合併して12年間皆さんでやってきた結果が、今の財政に出てくるのです。合併したときには0.73で、それがどんどん下がってきて、おそらく0.6を切ります。そういう中であって、観光を元気にして税収を上げることもやっています。やっていくけれども一朝一夕にはいかない。これを0.6で止めていくことが、私は大変だと思います。なぜなら税収が減ってくるからです。だから、新たな財源をしっかりと考えなくてはならないなというふうに思います。宿泊税とか入湯税とか、新たな財源をしっかりと検討しなくてはだめだと思います。それで、観光客から税金をいっぱい取れと、もっと宿泊税もって文化会館の改修費にまわせと言ってくれるのであれば、それはそれで丸なのですが、全部が全部使えるわけではないですから、少なくとも将来を考えてやっていかなくてはならないなと思います。合わせて歳出を削減することです。それは、役所の中の無駄なことは全部やめていきます。どんどん無駄は削っていきます、そういう気持ちでいます。それでも追い付かないと思います。では、どうするというのが今の現状です。ただ、文化会館に関しましては、日光に関しましては、皆さんの意見を今日頂戴しましたから、もしかすると、ここに来てない旧日光の方々に、

壊してもいいよという人がいるかもしれません。例えばの話です。話を聞きましたから、持ち帰っていろいろ検討したいと思います。また民間のサウンディング調査とかそういうのを並行してやりながら、また、役所としての考えを示させてもらえばと思います。前回は、今回もですけど、今の時点で、日光市は私が責任者ですから、私が今の日光市にとっては、これはやっていかななくてはならないと思って、皆さんに提案をさせていただきました。その結果、今日、皆さんからご意見をいただきました。市長への手紙というものがありますから、今日、意見が言い足りなかった人は、ぜひ市長へのメールで入れてください。私が全部目を通します。今日は8時を回っていますから、皆さんも言いたいこといっぱいあると思うのですが、なんとかそれでご理解をいただければと思っています。

市民11

ここは総合会館で、文化会館とは違います。総合会館が設立をされたときに、課長さん経験者も今日いらしておりますが、星野仁十郎さんというスポーツマンの市長さんでございました。この方は、大変、文化活動に熱心でありまして、そういう状況でこの会館ができたのです。今日参加された執行部の皆さんを含めて、こういう議論をしたときに、なぜ利用者である一般市民の代表者を何人か入れなかったのですか。皆さんが、机上の空論を今日は述べていると思うのです。しかも、財政がだめだということを我々に押し付けとか、脅迫しているのではないですか。聞く我々にとっては、大変、見識がない皆さんだと思います。大嶋市長、もう1回聞きます。市長に当選してから、この案ができた段階で、自分でこんな議案を一般市民に示したらどうなるだろう、そういう疑問はおきなかったのですか。あえて、皆さんたちがつくったやつができ上がったからということで、提案をされたのか、これは非常に不見識です。それはご自分が公の立場であるとは思いますが、それを、即、受け入れて、今日説明会をするということは、我々市民にとっては大変ありがたい話です。それと、この総合会館は、先ほどから話していますが、指定避難所いわゆる、西町地区、山内の自治会の皆さんの指定避難所なのです。378人という人数で決められているのです。そういう避難所であるところを潰すということは、我々はどうしたらいいのですか。避難するときに、まだでき上がることがわからないような施設に、無理やり閉じ込めるのですか。そんなことは、我々は許せないと思います。今日、私は前半皆さんの発言を聞いていました。皆さんの回答だって、しどろもどろです。今日の段階では、今日、説明されたものを持ち帰って、もう一回検討し直したらどうでしょうか。それが日光市民の一部かもしれませんが、気持だと思います。今日ある人と話したら、今日の集会は反対の集会だと言われましたが、反対も賛成もみんな今日は来ているはずですから、もう一回持ち帰って、市役所で検討するなり、市のどこかで検討して、団体の代表を何人か入れていただいて、もう一回検討しなおしたらどうでしょうか。それと、財政の話ですけども、今日は財政の方が来ておりますが、かつて日光市には法定外税として、いわゆる文化施設観光税というものがありませんが、それは一部の人だったのでやめました。しかし、今、日光市が財政的に苦しいというときに、そういう文化施設観光税の復活についても検討してみてください。財政がないということであれば、いろいろな財政の理由をつけて、二社一寺の皆さんと話をしてください。そういうこともしないで、やれ財政が何年か後にはパンクする、そんな話を私たちは聞きにきたわけではないです。文化的な活動をさらに深めるために、日光市民の文化の拠点として、この総合会館を私は

残してほしいと思います。かつての市長さんが一生懸命がんばって、この総合会館をつくられた努力を、決して私は忘れていません。議会であれば、通告制です。我々では通告できないわけです。だから、時間が長くなるのですが、そういう点お願いします。

大嶋市長

さっきも言ったように、持ち帰ってよく検討しますというふうに言っていますから、そこはご理解をください。また、ありきというお言葉が出ましたけれども、まず、この時点では正直ありきだと思います。役所としてこうにしたいのですというふうに案を出した時点では、ありきととられても仕方がないかもしれませんが、今日みたいに意見交換をしながら、持ち帰って検討していくと言っていますし、コンセンサスのとれないうちに、勝手に壊してしまうということはしないと言っていますから、そこは信用していただきたいと思います。それと、先ほど8年後に貯金がなくなるというふうに言いました。私は財政を無視して、市政運営はできません。ほら見る言ったこっちゃない、金がなくなったじゃないかと言われますし、そうならないようにしていくのが、私の仕事だと思っています。ですから、財政を無視してやっていると、こういう文化施設をなくしてしまうことも、未来にもしマイナスになるとすれば、財政に無頓着でどんどん借金漬けにしていくことも、やはり次の世代にも、皆さんにも無責任になると思いますから、現実を見据えながら皆さんの夢と希望をみながら、市政を担っていきたいというふうに思いますので、ご理解いただきたいと思います。

市民12

市長としての考え方、もうすでに文化会館の廃止は決まっていたけども、それは待てよという気持ちがあった。

大嶋市長

廃止は決まってないです。決めてないです。この時点でこれがいいだろうという話です。

市民13

先ほど〇〇さんのほうからもお話がありましたが、どこかの国会議員の答弁のようになりますが、日光市民憲章を市長さんにご存知でしょうか。この中にある「国際観光文化都市として、教養と品格を高め、文化を創造するまちをつくります」とあります。生涯を通して平等に学習の機会を持ち、世界に通じる教養と品格を身につけることにより、一人一人の個性と続くので、その辺もご理解いただいて、ぜひ、平等な学習の機会、文化の機会を与えてください。よろしく願いいたします。以上です。

市民14

いろいろなご意見が出ておりましたけれども、一番気になったのは、ここの利用率が一番低いということでした。ここのこけら落としのとき、有名な歌手の方が来られて舞台に立たれて、もう二度と来ないと言って帰ったそうです。なぜなら、音響効果が絶対なっていないと。皆さんがおっしゃるのに、音響効果の悪いというのは評判です。だから、そのところを良くしていただいた

ら、日光は有名なところですから、有名な方たちが来たいと思っています。だから、この音響効果とかそういうところを良くしていただければ、もっと希望者が多くなるのではないかと思います。だんだんと財政が少なくなるということばかりが頭に残りますが、えらい社長さんたちは、赤字になったとき黒字にするためにはどうしたらいいかということを、いろいろな方面から考えます。マイナス面ばかりを眺めながら、会社を経営する人はいません。だから、そのところは音響効果とか、もっと舞台設備とかをして、日光は若い青少年たちが一生懸命、一年に一度の発表会を楽しみに、それから家族、昨日は小学生の方たちも大勢見えて満席でした。だから、つくりようによっては、ここは黒字にできるのではないかという思いがいたします。

上中副市長

先ほどから、文化的な施設に対する思いも、十分ではないですけれどもお聞きしました。財政論ではないでしょうという話は理屈だと思っています。ですが、先ほど市長からお話がありましたように、まず、財政が持たなくては市政運営もできません。例えばどの施設をとということで、文化的な施設は一切手をつけないところが、そのまま大々的に改修をして、金を注入して維持しましょうということがいいのか。この際だから全て言わせていただきますけど、この後、国体とかも控えています。国体は県が最終決定するのですが、国体自体は県のほうで受けますという話になっていまして、今度、控えている冬季国体というのがあって、それもできるかどうかというのは日光市しか受けどころがないものですから、冬季国体は全国でも金がかかるので、なかなか受けどころがなく、数年でまわってきてしまいます。その度に大規模な改修をしないと、国体は開けないのです。それなりに宿泊者とかが訪れるから、そういった恩恵がこの地域に落ちるのかなというところがあって、そういったところの最終的な判断としては、なんとか、ないお金をやりくりして受ける方向で考えていきませんかというところで、今、検討しています。スケート施設は、お子さんとか市民の方が利用している、霧降のスケートセンターがあります。あそこが非常に厳しい状況です。穴が空いてしまって、陥没状態になっています。それは、合併前から、根本的にそうかもしれませんが、今、そこを大々的に直さないと、実はスケートリンクも維持できないのです。そこを改修するのに約8億円かかるのです。その他に細尾リンクというアイスホッケーができるところがありますが、あそこにもお金をこれからかけなくては、国体自体開けないという状況もありますので、頭が痛い話ですが、そこも3、4億円かかる可能性があります。そういったものが次々控えていて、財政を圧迫している要因になっています。例えば文化的なものを中心に考えたら、そのスポーツ施設、例えばオーバルリンクをやるフィギアスケーター、スピードスケート、あとフィギアスケートいわゆるスケートだけで、今の地域の中で競技をしている方は14名しかいらっしゃらないそうです。そこに12、3億円かけることになります。そういったことが控えていながら、スケート施設は、この日光がスケートの聖地と言われるところで、何とか維持したいという気持ちはあるのですが、何も削れません、全部を大々的に改修しろでは財政は持ちませんので、皆さんの知恵借りて、何を整理統合していったらいいですかとか、集約していったらいいかということも、残せ残せ、直せ直せではなくて、少しそんな意見もいただけるとありがたいなと思っています。以上です。

市民15

こうやって長いこと話していてもきりが無いと思います。まずは総合会館の廃止ということは別において、総合会館の運営方法を考えていったほうがよろしいのではないのでしょうか。先ほどこの駐車場の話が出ましたが、7,000万円の収益があり5,000万円経費がかかると聞いたのですが、あそこの管理を入札にしたら、いくらになったか考えたことがありますか。私が若かったら2,000万円で引き受けてしまいます。そういうのを、もう少し管理面として検討してください。これから民営化ということは、日本国中どこでも騒がれています。日光市も率先して民営化。日光は栃木県の4分の1近い広い広域の市なのですから、そこらのところを十分において、日光市で一番働けるところはどこかという、これは旧日光市なのです。観光地として稼げる場所は、ですから、旧日光市をおろそかにしたら、財政はなんぼでも苦しくなります。そのところをよく考えてやられたほうがよろしいかと思います。

近藤部長

それでは、今、そのお話しをいただきました。時間もかなり経過してしまいました。まだご意見あるかと思うのですが、ご意見等につきましては、お手元のほうにアンケート配らせていただきました。そちらのほうにご記入いただくか、または、ご意見・ご要望など管財課までお寄せいただければと思います。アンケートのほうはご記入いただきまして、お帰りの際、受付にご提出いただければ幸いです。前回お話しをいただいておりますので、今回はこれで終わりにさせていただきたいと思います。それでは、本日説明させていただきました事項につきましては、今月22日発行の広報にっこうとあわせてお知らせする予定でございますので、ご覧いただければと思います。また、機会があればお越しいただければと思います。それでは本日の説明会はこれで終了とさせていただきます。お忙しい中、説明会にご参加いただきありがとうございます。ありがとうございました。